



トステム株式会社

リビング建材  
グランドライン

# クローゼット開き戸Ⅱ型（両開き）取付け説明書

●この説明書は必ず施工される方にお渡しください。

## ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に使用者が中程度の傷害、軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

- 本体の吊込みを行う場合は、本体の丁番カップが縦枠の丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体の落下の原因となります。
- 本体へはもたれ掛からないようにしてください。本体が外れ、転倒しケガの原因となります。

## ■施工上のお願い

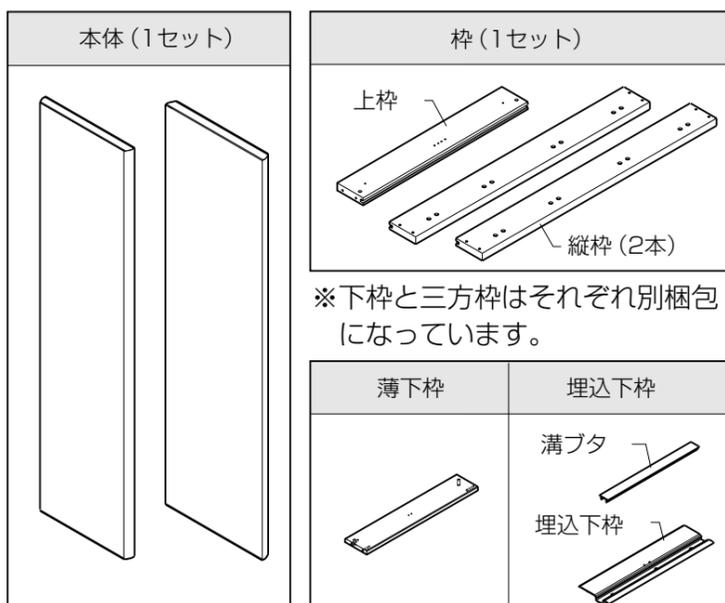
- 丁番3枚吊り、4枚吊りの本体は、最初に中間の丁番を取付け、次に端部の丁番を取付けてください。又、本体を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 集成材を使用していますので枠にソリ、ねじれがある場合があります。かい木を使用し、建具枠の水平・垂直を調整してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時には、必ず接着剤を併用してください。かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 本製品のねじ取付け時には、クラッチ付きのドライバーの弱で締めてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥剤（含水率20%以下）を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には、かい木を入れてください。
- 建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。（施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。）
- 下枠の納め方に応じて縦枠を切断してください。

### ■縦枠の切断

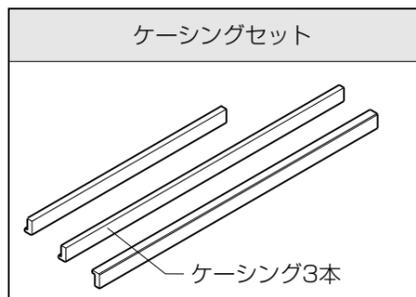
薄下枠	切断不要
埋込下枠	切断(12mm)

## ■各部の名称

※枠・本体はそれぞれ別梱包になっています。



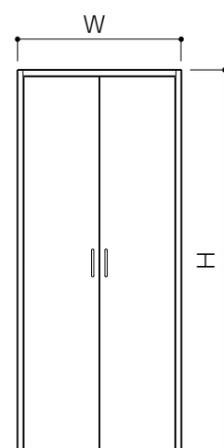
※ケーシングは枠・本体と別梱包になっています。



## ■開口部の作成

●開口部を作成します。  
※開口部寸法は下記寸法で作成してください。

開口H方向：H+5mm  
開口W方向：W+5mm



## ■部品セット一覧

### ■本体部品セット

部品名称 呼称	把手セット (ねじ付)	丁番カップ	皿タッピンねじ φ4×16 丁番カップ用ねじ
0709・0712 0809・0812	2	4	8
0718・0818	2	6	12
0720・0723 0820・0823	2	8	16

### ■枠部品セット

部品名称 呼称	皿小ねじ M4×50 (上枠・縦枠組立て用)	皿タッピンねじ φ4×50 頭部シート色塗装 (上枠・縦枠躯体 取付け用)	戸当たり	戸当たり 取付けねじ ナベタッピンねじ 1種φ3.5×16	丁番座
0709・0809 0712・0812	4	11	2	4	4
0718・0818	4	13	2	4	6
0720・0723 0820・0823	4	15	2	4	8

### ■下枠部品セット

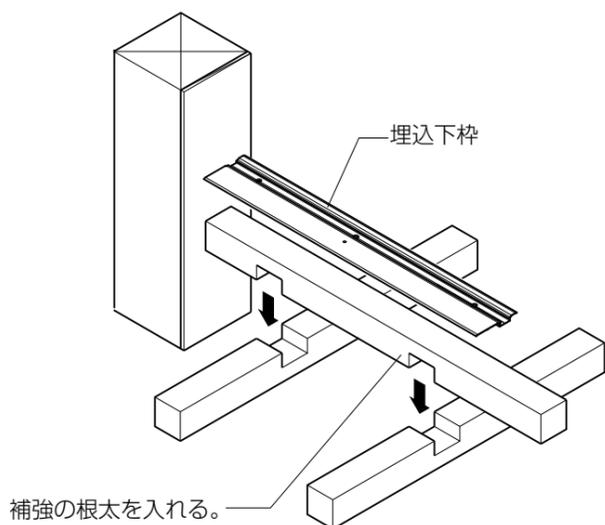
下枠種類	皿小ねじ M4×50 (下枠組立て用)	皿タッピンねじ φ3.5×20 (枠取付け用)	縦枠下部ピース	縦枠下部ピース 取付け用 皿タッピンねじ 1種φ4×20
薄下枠	4	—	—	—
埋込下枠	—	2	2	2

## ■床の張り方

### 〔床先張り(枠後付け)の場合〕

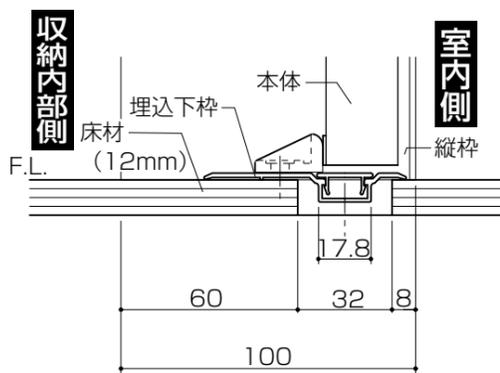
#### 1 埋込下枠下地の確認

- ① 枠材は捨張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は下図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や本体開閉不具合の原因となります。



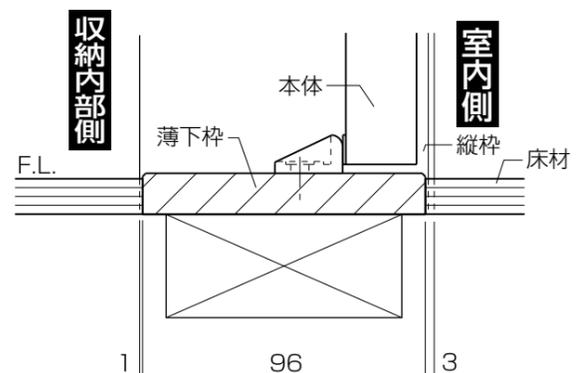
#### 2 床張り位置(床の張込み)

- ① 下図の位置に32mm(最小開口25mm)あけて床材を張ってください。



### 〔床後張り(枠先付け)の場合〕

- ① 枠の取付け後、縦枠・薄下枠に沿って床材を張ってください。



#### お願い

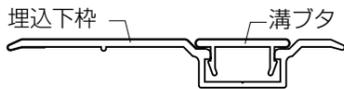
※床材は必ず図の位置に張込んでください。床材の開口寸法が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。

# 取付け詳細

## 1 枠の組立て

### 〔床先張り（枠後付け）の場合〕

※埋込下枠セットを使用してください。



①縦枠斜線部を切断します。

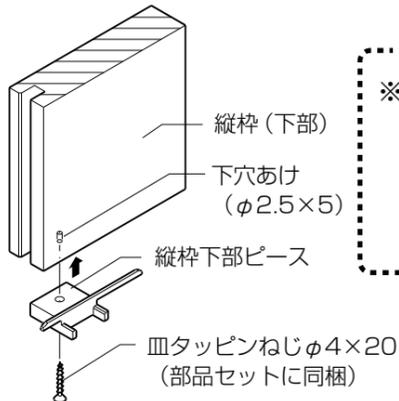


●切断寸法（12mm）は、H09の場合、床上面（F.L）から上枠上端までの寸法を878mm（H12=1178mm、H18=1823mm、H20=2023mm、H23=2306mm）にする場合を示します。

※現場の納まりによって加工寸法を決めてください。

※本体の下木口と床面のすき間を10mm以上あけるような納まりは、戸当たり部品が機能しなくなりますのでご注意ください。

②縦枠に縦枠下部ピースをねじ（皿タッピンねじφ4×20）で固定します。縦枠に下穴（φ2.5×5）をあける時は、取付け説明書に載せてある型紙を使用して位置出しをすると簡単にあけることができます。



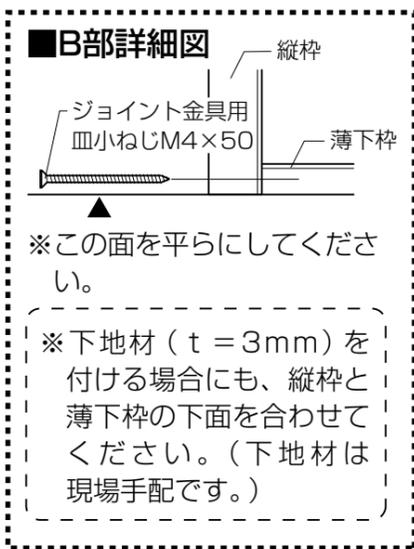
**お願い**  
※ねじを締める時は、ねじを空転させないようにクラッチ付きドライバーの弱で締めてください。

### 〔床後張り（枠先付け）の場合〕

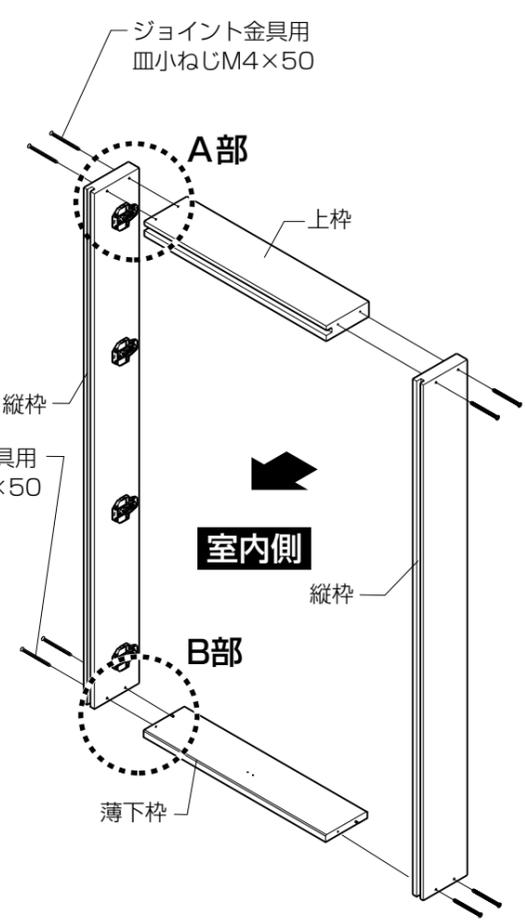
※薄下枠セットを使用してください。



①上枠・薄下枠と縦枠をジョイント金具用皿小ねじM4×50で固定します。



※この面を平らにしてください。  
※下地材（t=3mm）を付ける場合にも、縦枠と薄下枠の下面を合わせてください。（下地材は現場手配です。）



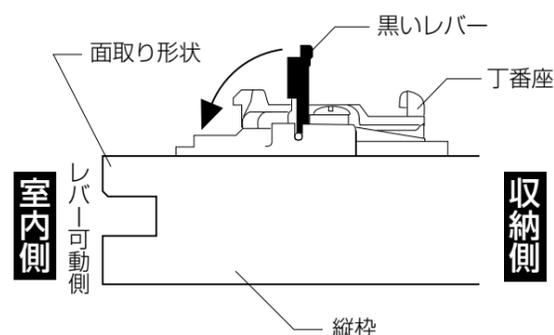
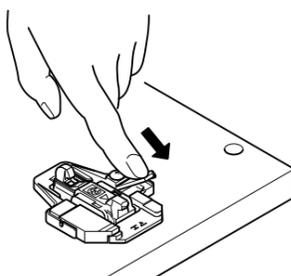
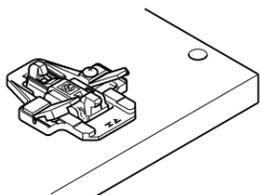
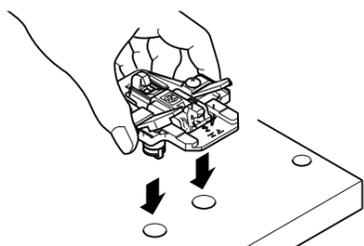
③縦枠に丁番座を取付けます。

縦枠に丁番座を差込みます。

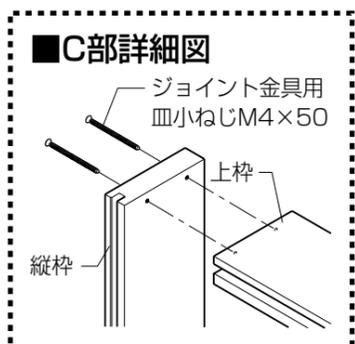
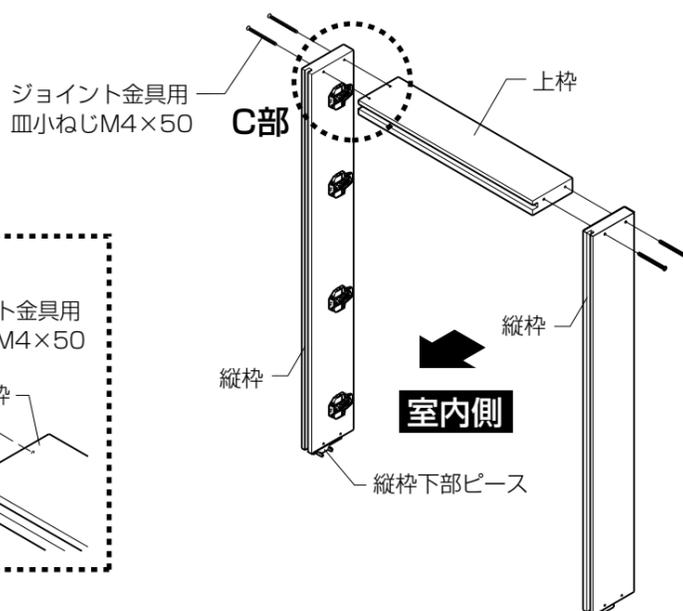
丁番座と縦枠の間にすき間がないことを確認してください。

黒いレバーをおろして丁番座を固定します。

※丁番座の向きは下図を参照し間違いのないようにしてください。

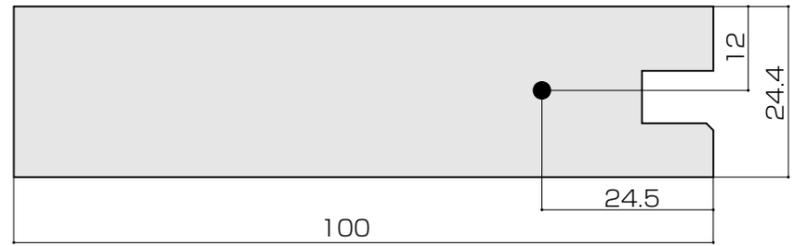
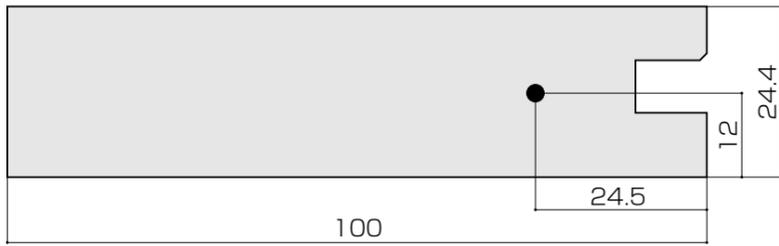


④上枠と縦枠をジョイント金具用皿小ねじM4×50で固定します。



●縦枠下部ピース取付け穴加工用型紙

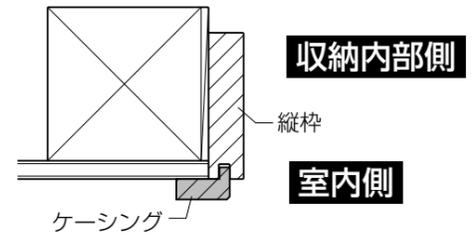
・ケーシング縦枠 (下穴φ2.5×5)



2 枠の取付け

●枠の位置出し

●組立てた枠を開口部に入れます。次に縦枠にケーシングを差込み、枠の固定位置を確認します。  
 ※ケーシングの足が短いため、後で調整することができません。このため、位置出しは確実に行ってください。  
 ※ケーシングは、位置出しのためですから固定はしないでください。



●枠の取付け

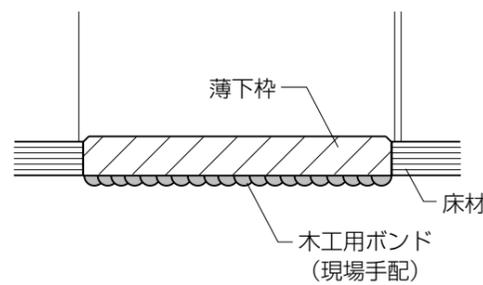
①組立てた枠を、開口部に取付けます。  
 ※取付けねじ (皿タッピンねじφ4.0×50) と同じピッチになるようにかい木を入れます。

②下枠を躯体へ固定します。

〔薄下枠の場合〕

●床材厚さ12mm

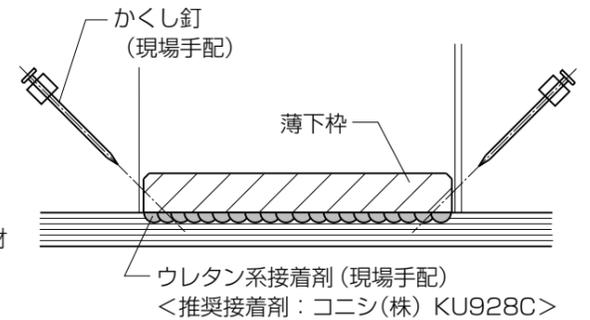
※必ず薄下枠に木工用ボンドを付け、躯体に固定してください。



〔床先張り (枠後付け) の場合〕

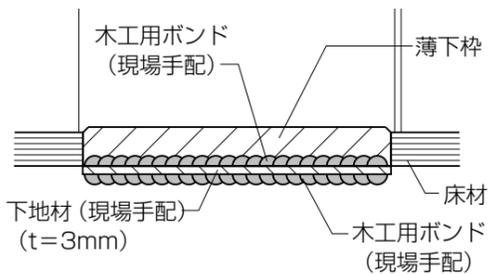
●床材厚さ15mm

※薄下枠は接着剤を塗布し、かくし釘などで固定します。



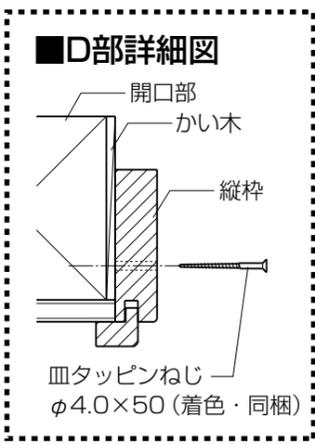
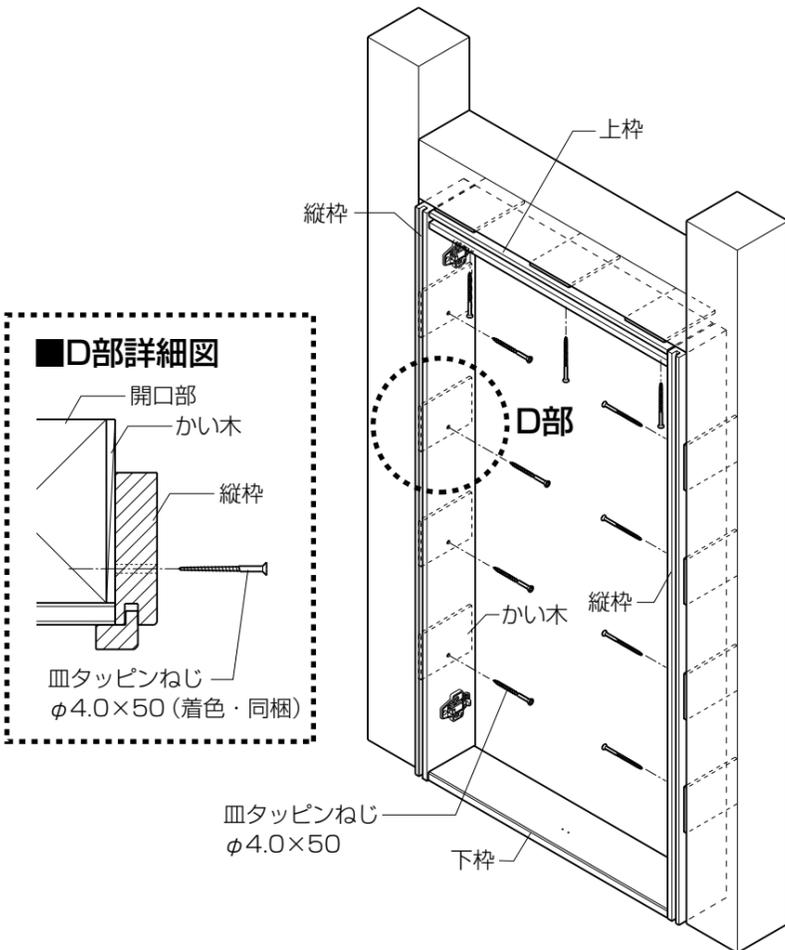
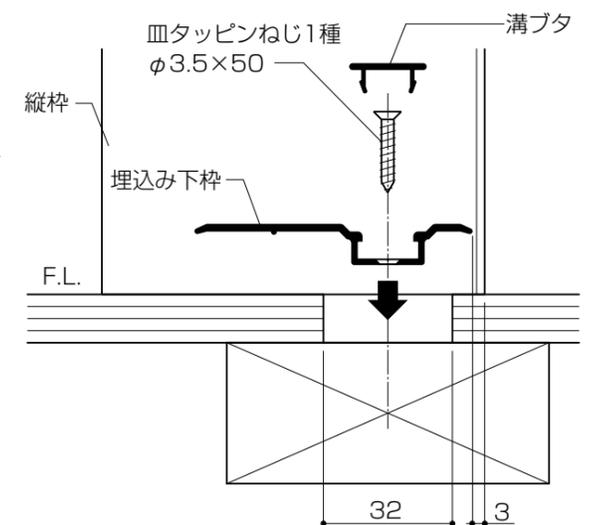
●床材厚さ15mm

※必ず薄下枠と下地材に木工用ボンドを付け、躯体に固定してください。



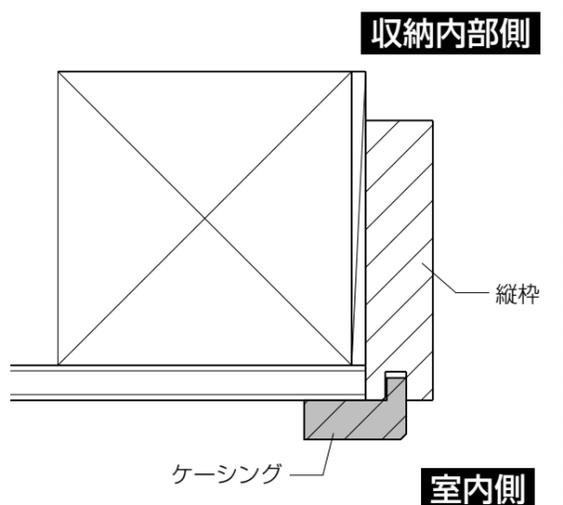
〔埋込み下枠の場合〕

●埋込み下枠を縦枠下部ピースにはめ込み、縦枠室内側端部から3mmの位置にねじ止めし、溝プタをはめ込みます。



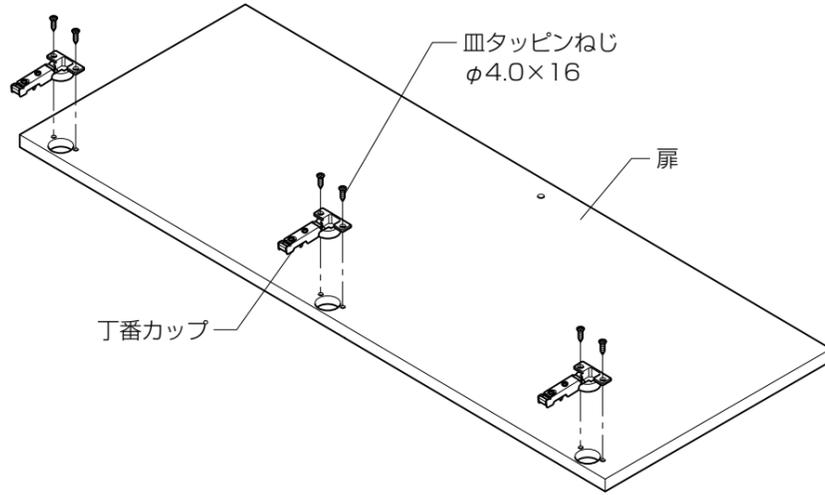
●ケーシングの取付け

●組立てた枠を開口部に入れます。次に縦枠にケーシングを差込み、枠の固定位置を確認します。  
 ※ケーシングの足が短いため、後で調整することができません。このため、位置出しは確実に行ってください。  
 ※ケーシングは、位置出しのためですから、固定はしないでください。



### 3 本体の吊込み

①扉に、丁番カップを同梱のねじで取付けます。



**お願い**  
 ※ねじを締める時は、ねじを空転させないようにクラッチ付きドライバーの弱で締めてください。

②本体の左右勝手の確認

●本体の下端より上下把手穴中心までの寸法が、917mmになります。(H09は756mm)

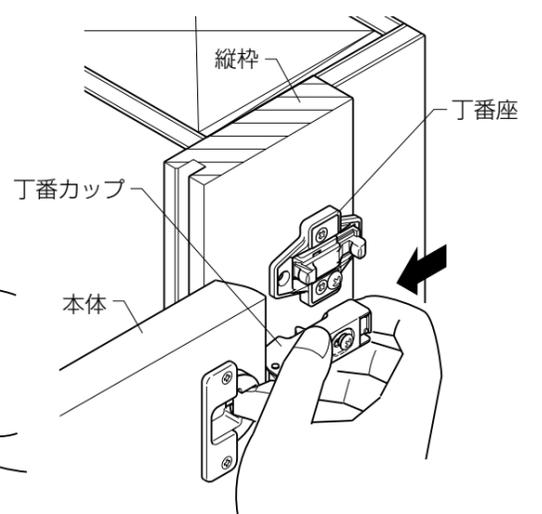
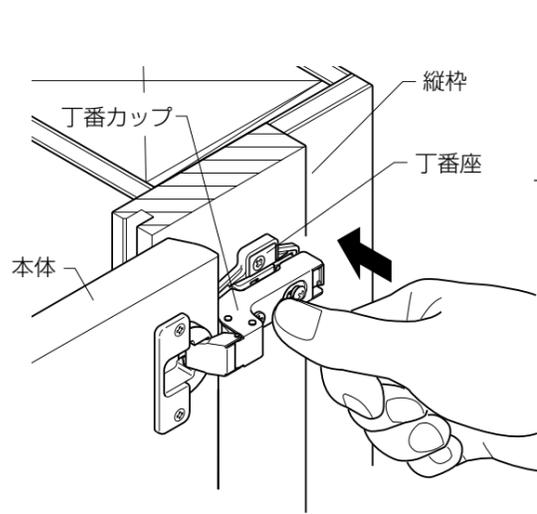
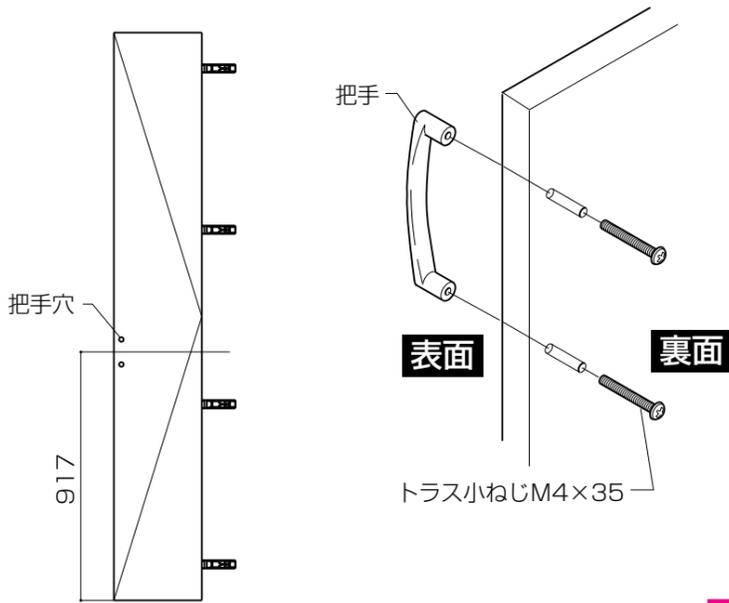
③把手の取付け

※把手セットは本体に同梱されています。

④本体の吊込み条件

●本体の丁番カップを縦枠の丁番座にセットし、上から押込むだけで簡単にセットできます。

●取外す場合は、先端のスイッチ（黒色）を押込むと外れます。



#### ▲ 注意

●本体の吊込みを行う場合は、本体の丁番カップが縦枠の丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体の落下の原因となります。

※H18 (3枚吊り)、H20、H23 (4枚吊り) の場合、最初に中間の丁番を取付けてから、端部の丁番を取付けてください。

※本体を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。

### 4 ケーシング枠の取付け

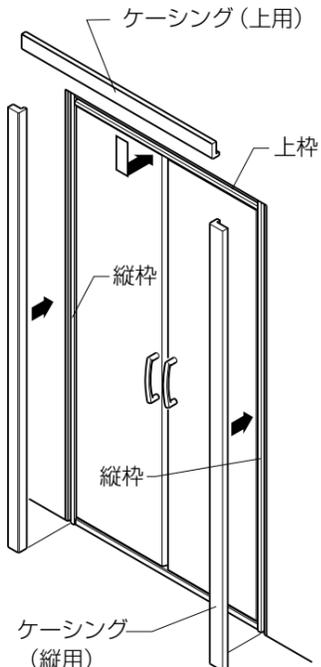
※壁材・床材を仕上げてからケーシングを取付けてください。

①別梱のケーシングを現場寸法に合わせて切断します。

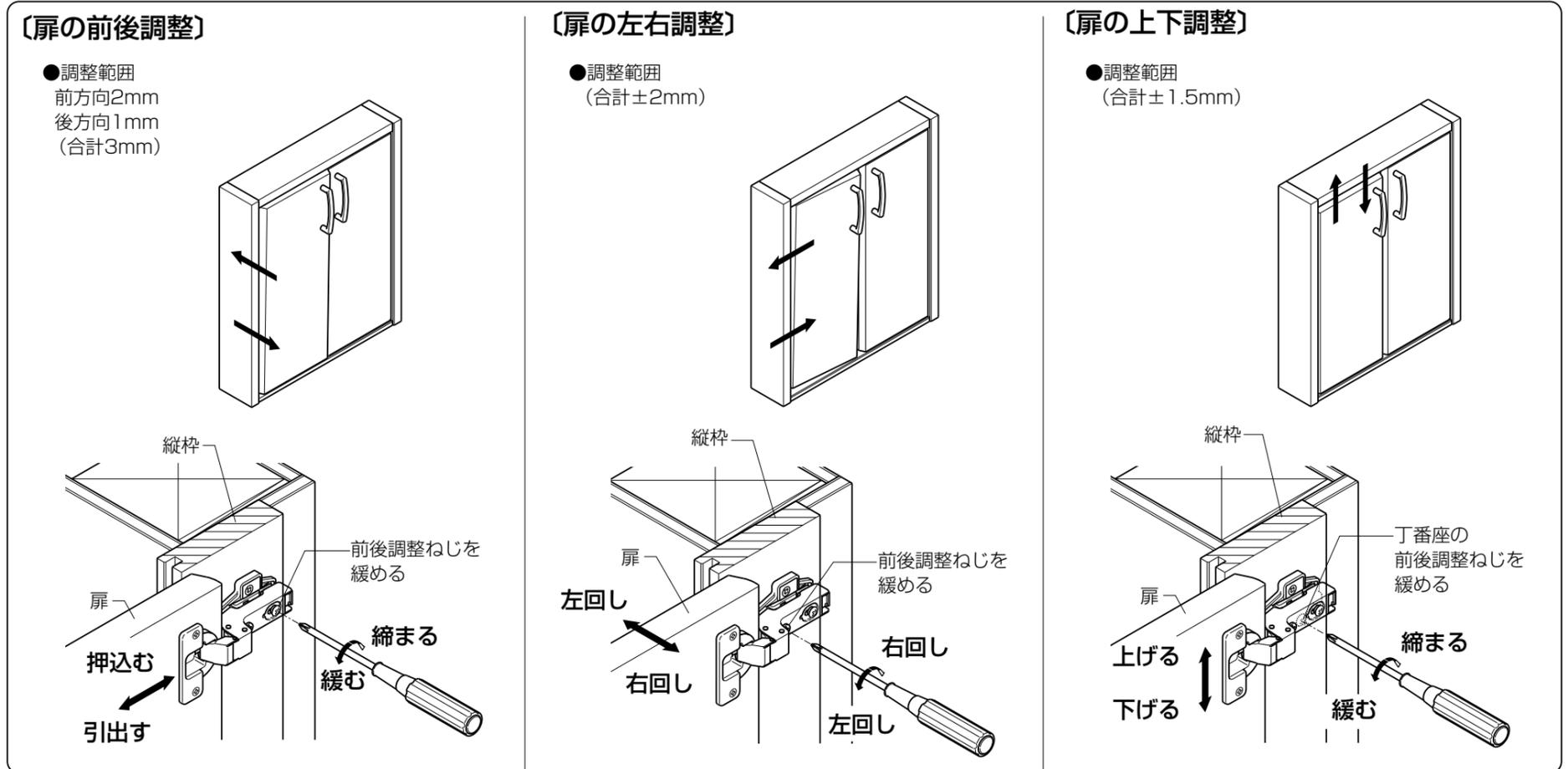
②枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。

③ケーシング溝とケーシング裏面に接着剤を塗布し、ケーシングを固定します。

※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



## 5 扉の建付け調整

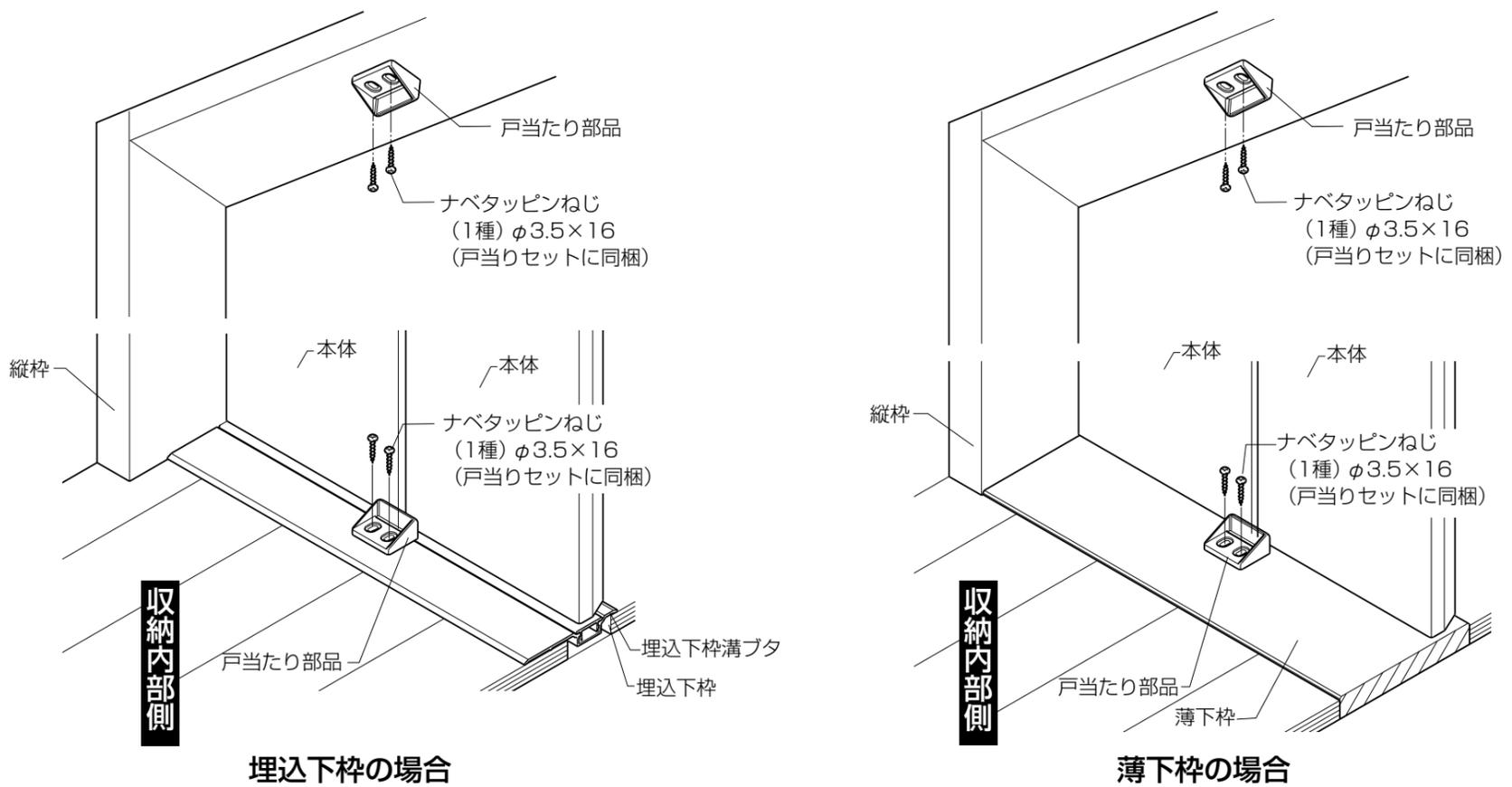


## 6 下部戸当たり部の取付け

①本体を枠に吊込み建付け調整を行った後、戸当たり部品をナベタッピンねじ(1種)  $\phi 3.5 \times 16$  (枠部品セットに同梱) で固定します。

お願い

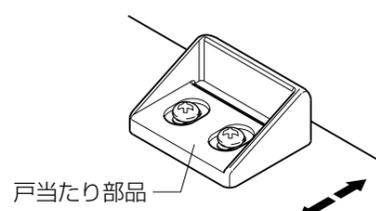
※ねじを締める時は、ねじを空転させないようにクラッチ付きドライバーの弱で締めてください。



## 7 戸当たり部品の調整

①本体の建付け調整を行った後、本体を閉めて戸当たり部品とあたっていることを確認してください。

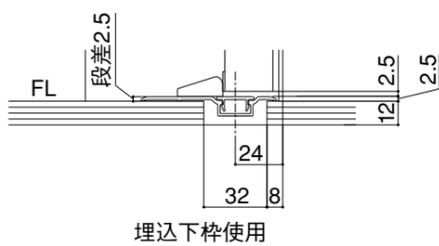
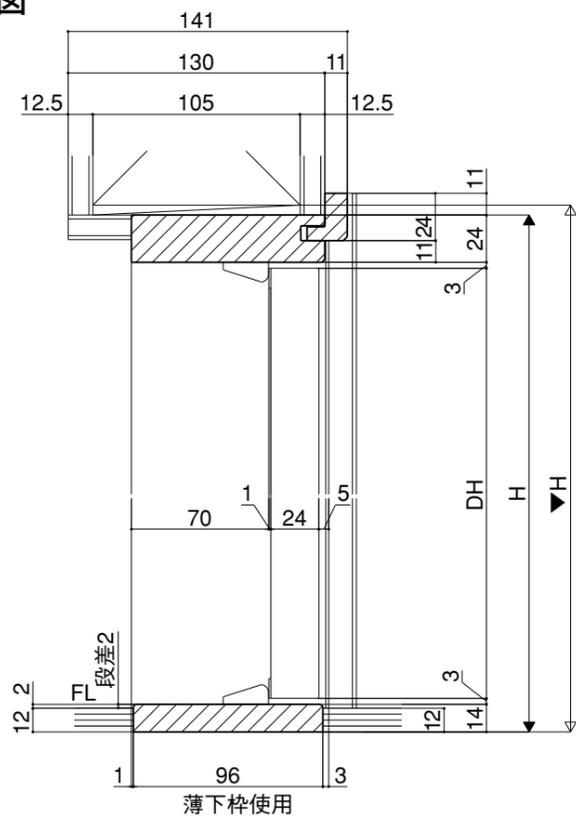
※本体と戸当たり部品があたらない場合は、戸当たり部品取付けねじを緩め調整してください。(調整範囲：奥行き方向に3mm)



■納まり図

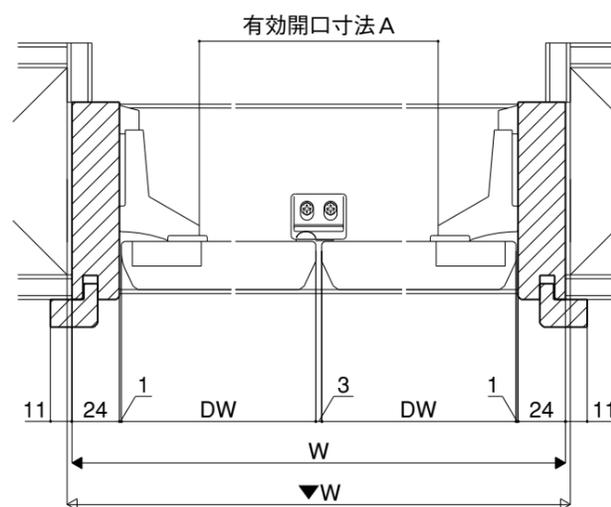
●クローゼット開き戸 (両開き)

縦断面図



基本 寸法 (mm)	W呼称	07	08M			
	W	734	824			
	H呼称	09	12	18	20	23
	H	890	1190	1835	2035	2318

横断面図



W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W07 (734)	608
W08M (824)	698